

製品名 クレイジースモール OneFT S/N: 1FT

製品番号 CZSMONEFT

開発製造 cooyou.org ホームページ <https://cooyou.org/oneft>

お問い合わせ先 admininfo@cooyou.org

仕様

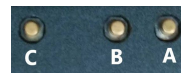
インターフェース	マイクロUSB USBバスパワーで動作
動作OS	Windows,macOS,Linux,Android,iOS 標準ドライバで動作 スマートフォンやタブレットはUSB ホスト機能とOTGケーブルが必要です。iOS機はセルフパ ワーハブが必要かもしれません。
ボタン	側面 A,B,C (USB近くからA、中央B、離れたC) 上面 黒ボタン
プリセット	A,B,Cの3つ。各ボタンで切り替え。 それぞれ感度、キー出力モードを設定可能 プリセットごとに最大3つのキー登録 初期値は以下(左,右,上,下順) : プリセットA* Enter プリセットB スペース プリセットC マウス左
設定項目	OS (*Windows,macOS) *が初期値 感度 (*低感度、高感度) キー出力モード (*押し続け、瞬間、連続) 連続時の時間間隔 (*低速、中速、高速) オールリセット
登録キー	日本語キーボードのキー、マウスクリック
ケース 色	ABS樹脂 黒
幅,奥行,高さ 重さ	46x23x38mm 20g
付属品	取扱説明書 *USBデータケーブルは付属しません
保証期間	3ヵ月

本体は主にプラスチック素材で出来ておりますので、体重をかけたり強い力で操作すると破損の恐れがあります。保証外となりますのでご注意ください。

電源

接続先機器が起動状態で、本機にUSBケーブルを接続するとON,抜くとOFFとなります。充電専用ケーブルでは動作しませんのでご注意ください。

iOS機はバスパワーで動作しない可能性があります。セルフパワーハブが必要かもしれません。スマホやタブレットはOTGケーブル経由で接続します。



通常の使用方法

電源ONの後で黒ボタンを押すとキーボード(またはマウスクリック)出力されます。A,B,Cの各ボタンを押すことでプリセットを選択できます。選択は記憶されますので、次回以降は側面ボタンを押す必要はありません。

OS設定

macOSでご利用の場合は、AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

macOSの場合は、もう一度AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

OSの画面上に設定画面が出ます。左シフトキー横の入力画面では、Aボタン、右シフトキー横の入力画面ではBボタンを押すと認識されます。

その後、電源OFFします。

Windowsでご利用の場合は、Bボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。電源OFFします。設定は記憶されます。(Windows用が初期設定のため、通常は設定不要です)

感度(現在選択しているプリセットに対して設定されます)

BボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Aボタンを押すと低感度、Bボタンを押すと高感度です。どちらかを押します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

キー出力モード（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

AボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Aボタンを押すと「押し続け」モード、Bボタンを押すと「瞬間」モード、Cボタンを押すと「連続」モードとなります。

どれかを押して下さい。設定は記憶されます。

「連続」を選択した場合は時間間隔を設定します。

Aボタンを押すと低速、Bボタンを押すと中速、Cボタンを押すと高速となります。どれかを押して下さい。

その後電源OFFします。設定は記憶されます。

以下ではキー押下（プレス） キー離す（リリース）と表記します。

3つのキーが登録されているものとして説明します。登録が無い場合は処理をスキップします。

「押し続け」

黒ボタンを押すと、1プレス、2プレス、3プレス

黒ボタンを離すと、3リリース、2リリース、1リリース
となります。

「瞬間」

黒ボタンを押すと、

1プレス、2プレス、3プレス、3リリース、2リリース、1リリース
となります。黒ボタンを離した時は何も行われません。

「連続」

黒ボタンを押すと、

1プレス、1リリース、2プレス、2リリース、3プレス、3リリース

となります。黒ボタンを離した時は何も行われません。

プレスとリリース間に短い時間間隔、リリースとプレス間には長い時間間隔が入ります。

※macOSの場合、OSの仕様上、別のキーボードと跨いだ連携の制約があります。

単体ではCommand+Cのような動作は可能ですが、Command押下を本機で出力後、他キーボードでCを合成するということが標準では出来ません。

サポート外ですが、Karabinerソフトの導入をご検討ください。

登録キー（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

次ページのキーボード図の番号を登録できます。

基本的にはWindows用となりますが、macOS設定の場合は青字の変更が相当します。0番は登録なしとなり、113,114,115はマウスクリック用です。

番号をキーボード出力して確認しながら設定しますので、OSの画面でメモ帳などのエディタを開いてください。英数字を直接入力できるようにしてください。

Aボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

次に黒ボタンを押してから、離します。すると、現在の番号が出力されます。

例えば、A,L,1 100 のように出力されます。プリセットAの1番目のキー登録に100番（スペースキーに相当）が設定されてます。という意味です。

（プリセットAまたはBまたはC）, L, （1または2または3番目） （登録番号）

Aボタンを押すごとに登録番号が+10されます。Bボタンを押すごとに1の位が+1されます。押すごとに情報が出力されます。最大値を超えると桁が0に戻ります。

（変更しない場合はA,Bボタンを押す必要はありません）

登録番号はボタンを押した時点で変更が記憶されます。

電源はいつでもOFFにできます。

登録番号が決まったら、次にCボタンを押すと2番目のキーの登録が出来ます。

同様に、A、Bボタンで番号を決定後、Cボタンを押すと3番目のキー登録ができます。A、Bボタンで番号を決定します。

途中で電源はいつでもOFFにできます。

3番目まで登録されると次はなにも設定しません。電源OFFしてください。

オールリセット

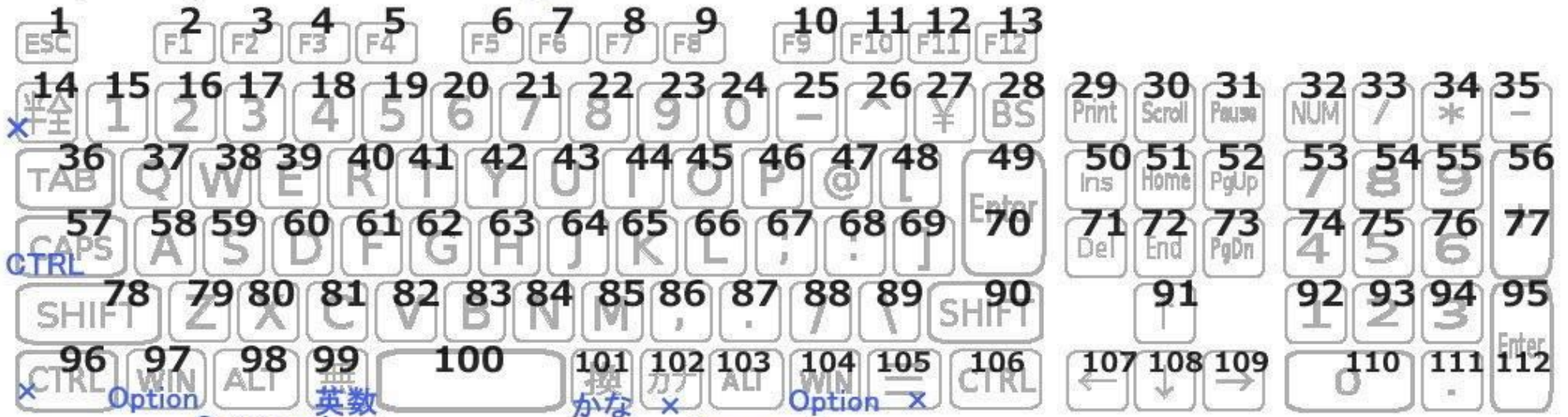
出荷時の設定に戻すことができます。

A、B、Cの全てのボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

オールリセットされたので、電源OFFします。

0 (None)

macOS — 青字



Mouse Button : 113 (Left) 114 (Right) 115(Middle)

- A ● Preset A Enter(49)
- B ● Preset B Space(100)
- C ● Preset C Mouse Left(113)

